１．発見日時	令和６年(2024 年)６月６日（木）
２．発生海域名	北斗市 北斗漁港（上磯地区）
３．発生状況 （規模、形状等）	漁港内荷捌所前の海面で着色を確認。範囲は不明。
４．優占種	６月６日の顕微鏡検査で *Alexandrium tamarense* species complex（アレキサンドリウム・タマレンセ・スピーシーズ・コンプレックス（種群））1,750 細胞/mL を確認 ６月７日のＰＣＲ検査により、 *A.catenella*（アレキサンドリウム・カテネラ）や *A.pacificum*（アレキサンドリウム・パシフィカム）が含まれていることを確認 ６月７日の顕微鏡検査では 同種群の細胞数：33 細胞/mL にまで低下
５．その他	麻痺性貝毒を引き起こす原因種である可能性があるため，周辺の貝類や貝類を捕食するイシガニ等の毒性値の上昇に厳重な注意が必要である。
６．参考図	

図１　赤潮発生場所の位置

地理院地図（国土地理院）https://maps.gsi.go.jp/を基に道総研作成

図２　海水の着色状況

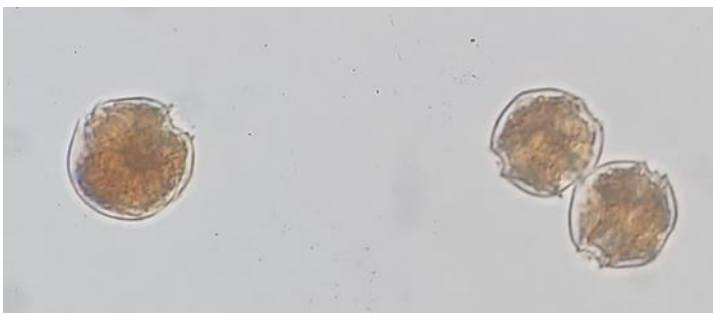

図３　確認された *A.catenella* の外観